

▲写真 T-022 てんじんじゃ **天神社のトチノキ**

万場スキー場の近くに天神社があり、その山側に立つ。

▼写真 T-024 はやたに おおとち **早谷の大栃**

朽木の山中にあり、地上 3~5m で大小 4 分岐する樹形。要ガイド。(写真・Web 画像)





▲写真 T-023 ペンぎんとう 別山道の大トチノキ

2009 年、白山山系の別山道の入口周辺に点在するトチノキの巨木調査を実施。幹周 5~7m 代のトチノキ 12 本を確認した。日本有数のトチノキの巨木群生地である。その内最大のトチノキ。登山道より山側に 30m 入った斜面に立ち、2~4m で4分岐する。谷側に水平に伸びる幹は 20m もあり、樹勢は旺盛である。

▼写真 T-025

熊野の大トチ

2本が根元融合する樹形。山側の株は主幹が空洞化するが、樹勢は旺盛で、谷側の株は単幹樹。巨木 DB の幹周は、二本の合計周か?





▲写真 T-026 ^{うっきか} 臼坂のトチノキ

廃村になった臼坂集落にある観音堂の対 岸急斜面に立つ。



▲写真 T-028 ^{しちの人ざん} 七面山の大トチノキ

七面山の中腹、栃之木安住坊に立つ見 事なトチノキ。 (写真・Web 画像)



▲写真 T-029 小野の大トチ

国道から林道を 2km進んだ深山の山の 斜面に立つ。近くにもう一本トチノキの 巨木がある。(写真・Web 画像)



▲写真 T-030 ^{はたが み} 畑上の大トチノキ

畑上より荒れた林道を40分程登り、 山道に入った斜面に立つ。国指定であり ながら、林道には標識が全くない。 (写真・Web 画像)



▲写真 T-031 神原のトチ

建男霜凝日子神社の里宮に立つ見事な単幹 樹である。 (写真・Web 画像)



▲写真 T-032 たかいわ 高岩神社のトチノキ

神社境内に立つ見事な単幹樹である。 (写真・Web 画像)



▲写真 T-033 ^{こながたわ} 小長辿の大トチノキ

廃村になった小長辿集落の奥、赤い鳥居の先に御神木として立っている。これまでの幹周 8.6m は、山側 1.3m にある主幹の大コブ上を測定したも。M 式では、コブの下を測定する事となり、意外と小さい。しかし、大きく分岐幹を広げる樹形からくる巨大感は、幹周 8m 級である。



◆写真 T-035 ^{いぼらじま} **茨島のトチノキ**

茨島地区の稲荷大明神の脇に立ち、四方に大きく枝葉を伸ばし、枝張りの見事なトチノキである。 (写真・Web 画像)



▲写真 T-034 ときのきとうげ **栃ノ木峠のトチノキ**

余呉高原スキー場入口付近が旧街道の峠で、少し林道を入った斜面に立つ。街道の難所を通る旅人を見守ってきた。

▼写真 T-036 ^{Lんみょう} 新名白山神社のトチノキ

白山神社本殿前に立つ。地上4mで2分岐し、 分岐幹は直立して天を突く。北幹は6mで大枝を 出す。巨大な割に繁る葉が少ないのが気になる。





▲写真 T-037 *とうたま **不動滝のトチノキ**

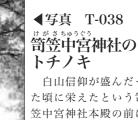
トチノキの巨木越しに見えるのが不動滝である。 滝の前に立つ巨木としては希有なものではないだ ろうか。

地上3mで5分岐し、四方に幹を広げる様は圧巻の樹形。主幹分岐部から直立して立上がる細い幹は 二分岐し、上部で一本になるという不思議なもの。

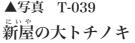


▼写真 T-041 枯死・利賀のトチノキ

1983 年撮影。その後枯死して、伐 採される。



白山信仰が盛んだった頃に栄えたという笥 笠中宮神社本殿の前に立つ見事なトチノキ。6mで2分岐し、大きく枝葉を広げる若々しいトチノキ。



一帯にはトチノキの群生があり、最 大株は道路のすぐ上に立っている。

